



ホームページ作成に欠かせない情報交流

ホームページの作成者にとって、とても気になるアクセスの件数。それは、そのホームページの人気度を示す正直な数字です。デザインや内容をあれこれ考え、常に新鮮な情報の掲載をと努力をしていますが、その思いとは裏腹に、この数字が伸び悩むことはありませんか!? 見てもらえるホームページづくり…みなさんはどのように取り組んでいますか!?

今や、情報提供の手段として大きな比重を占めるようになったホームページ。その有無は、その機関や団体の信用度にも影響するといってもよいのではないのでしょうか。そんなホームページも実際に開いてみると、分かりにくくて見るのが嫌になってしまうという意見も少なくないようです。これは、ホームページ作成者にとって耳の痛いことですが、改善する為にはとても貴重な意見となります。

当センターは、平成14年からホームページを立ち上げ、高齢期の生きがいづくりや、地域活動参加に関する情報を発信してきました。平成16年度には、ホームページの効果的な運用に向け、利用者であるシニアをモニターとして、ホームページに関する意見を集め、それらを基にリニューアルを図りました。そして、1年が経ち、改めてモニターを募ったところ、厳しくも新たな気づきにつながる次のような意見が寄せられました。

- 文字の大きさは通常より大きめに
- 文字の色は黒などのはっきり落ち着いた色に
- 動きのあるものは目が疲れないう程度に
- 長々とした説明文でなく簡潔明瞭な単文に
- 飽きのこない爽やかなイラストを入れて
- トップページである程度中身がわかるように

- 迷子にならないようリンクの数を最小限に
- リンクのボタンは画面の一箇所にまとめてわかりやすく
- 作成者の言いたい事より、見る側の知りたい内容のポイントを押さえて情報提供して

これらの意見から私たち作成者は、ホームページの元来の目的を再確認することができます。それは、ホームページは、見る人の為に作られるということです。もちろん作成者は、目的や対象、提供する情報内容について、こまごまと計画を立てていきますが、作成者側が、「こんな情報を知って喜んでほしい」と意気込んで情報提供をしても、それが必ずしも見る側の心に響くとは限りません。作成者の「伝えたいこと」と見る人の「知りたいこと」のズレを埋めることが必要です。

そのために作成者は、興味を惹くデザイン、分かりやすいページ構成、ニーズに合った内容、新鮮な情報の提供等、いずれも“言うは易く行うは難し”ですが、一方的な情報提供ではなく、日頃から、実際に見る人がどんな情報が必要としているのか、アクセス件数やモニターをはじめ対象となる方々の声に耳をかたむけ、見る側の意向を把握するよう、情報交流の機会を持つことが大切ではないでしょうか。

センターからのお知らせ

「かながわシニアグループネット」活躍中

「シニアのグループ活動の活性化」と、シニアのこれまでの経験を活かした「高齢者の生きがいづくり、地域活動参加の支援」を目的に、県内で活動中のシニアグループが集い、「かながわシニアグループネット」を結成しました。今年度は、定例会でお互いの活動上の悩みなどを情報交換し、これからの活動の参考とするほか、当センター主催の「あなたの元気サポート展」や「仲間づくりフォーラム」への企画・運営に参加し、各グループがこれまで取り組み培ってきた経験をもとに、高齢者予備軍を含めた方の、今後の生きがいづくりの支援を行いました。

かながわシニアグループネットに参加するグループを募集しています。詳細につきましては、当センターまでお気軽にお問合せください。

このページに関するお問い合わせ
かながわ長寿社会開発センター
 ☎ 045-312-3111
 FAX 045-312-3111
 1-873-34
 1-630-2
 URL http://www.nenin.or.jp/kanagawa
 E-mail tyoujyu@jinsyakyo.or.jp

